

[4] パキスタン

要経済指標等 (2014年)

●人口	1.85億人
●GNI 総額	2,603.32億ドル
●GNI 一人あたり	1,410ドル
●経済成長率	5.4%
●失業率 (2013年)	5.1%
●対外債務残高 (2013年)	564.61億ドル
●援助受取総額 (支出純額) (2013年)	21.74億ドル
●DAC分類	低所得国
●世界銀行分類	iii/低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対パキスタン援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2010 年度	197.00	48.03	24.95(24.34)
2011 年度	49.93	80.98	20.85(19.28)
2012 年度	—	60.74	19.39(17.87)
2013 年度	—	48.08	16.10(14.53)
2014 年度	50.00	49.42	15.96
累 計	9,809.93	2,594.86	532.94(512.85)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	64.7%(1990)	12.7%(2010)
●目標 2: 初等教育における純就学率	56.2%(2002)	71.9%(2013)
●目標 3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.53人(1990)	0.87人(2013)
●目標 4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	138.6人(1990)	85.5人(2013)
●目標 5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	400人(1990)	170人(2013)
●目標 6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	0.00%(2001)	0.01%(2013)
●目標 7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	86.3%(1990)	91.4%(2015)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

主要ドナーの対パキスタン経済協力実績 (2013年)

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

1位 米国	570.62	2位 英国	529.77	3位 日本	212.16	4位 ドイツ	134.48	5位 カナダ	67.09
-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	-------

出典) OECD/DAC

パキスタンに対する我が国ODA概要

1. 概要

パキスタンに対する我が国の経済協力は、1954年の研修生の受入れに始まり、その後の有償資金協力や無償資金協力による支援も含め、2013年では米英に次ぐ第3位の援助国となっている。我が国は、2009年4月に、パキスタン支援国会合等を開催し、2年間で最大10億ドルに及ぶ支援を表明し、これを着実に達成した。また、2010年には洪水被害に対する約5.68億ドルに及ぶ緊急人道・復旧復興支援も実施する等、同国の安定と発展に大きく寄与している。

2. 意義

パキスタンは世界第6位の人口を抱え、アジアと中東の接点に位置し地政学的重要性を有するとともに、アフガニスタンと隣接し、テロとの闘いの成否を握る国の一つでもある。豊富な労働力、経済市場としての潜在性を有し、かつ、国際社会の平和と安定にとって重要な同国が「穏健で近代的なムスリム国家」として発展していく上で、我が国の支援は重要な意義を有する。

3. 基本方針

経済成長を通じての安定した持続的な社会の構築に向けた支援を基本方針とする。2050年には世界第4位の人口大国になると予想されているパキスタンが潜在力を十分に発揮できるようにするため、安定的な社会状況を確保しつつ、民間主導型の経済成長の実現を支援する。

4. 重点分野

- (1) 経済基盤の改善: 電力供給システム構築、輸送インフラ、投資環境整備等、経済成長に不可欠な経済インフラ整備を図る。
- (2) 人間の安全保障の確保と社会基盤の改善: 識字率や就学率の向上に資する教育分野への支援、ポリオ対策を含む医療・保健サービスの向上、衛生環境の改善、防災能力の強化支援等を行う。
- (3) 国境地域等の安定・バランスの取れた発展: 治安改善のためのテロ対策支援、地域間格差の是正を念頭に置いてアフガニスタンとの国境地域の安定化に向けた支援を実施する。

※注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2010年~2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

表－2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表－1 の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2012 年度	な し	60.74 億円 ・ アボタバード市上水道整備計画 （国債 3/3）（12.04） ・ 国立民俗文化遺産研究所視聴覚機材整備計画（0.49） ・ ファイサラバード下水・排水能力改善計画（6.83） ・ 緊急無償（洪水被害に対する緊急無償資金協力（IOM連携））（0.81） ・ 緊急無償（洪水被害に対する緊急無償資金協力（UN-HABITAT連携））（0.65） ・ 緊急無償（洪水被害に対する緊急無償資金協力（WFP連携））（2.35） ・ カラチ小児病院改善計画（14.23） ・ 中波ラジオ放送網改修計画（13.85） ・ ポリオ感染拡大防止・撲滅計画（UNICEF連携）（2.26） ・ 選挙支援計画（UNDP連携）（1.83） ・ 日本NGO連携無償（1 件）（0.97） ・ 草の根・人間の安全保障無償（15 件）（1.33） ・ ジャパンプラットフォームを通じた人道支援（4 件）（3.11）	・ ギルギット・バルティスタン地域高付加価値果樹産品振興プロジェクト [12.08～16.08]
2013 年度	な し	48.08 億円 ・ 空港保安強化計画（19.46） ・ シンド州南部農村部女子前期中等教育強化計画（8.08） ・ ポリオ感染拡大防止・撲滅計画（UNICEF連携）（3.89） ・ ノン・プロジェクト無償（3 件）（13.00） ・ 日本NGO連携無償（1 件）（0.89） ・ 草の根・人間の安全保障無償（15 件）（1.31） ・ ジャパンプラットフォームを通じた人道支援（3 件）（1.45）	・ シンド州持続的畜産開発プロジェクト [14.01～19.01] ・ ハイバル・パフトゥンハー州技術・職業訓練能力強化プロジェクト [14.02～16.01]
2014 年度	50.00 億円 ・ 電力セクター改革プログラム（50.00）	49.42 億円 ・ グジュランワラ下水・排水能力改善計画（10.31） ・ 中期気象予報センター設立及び気象予報システム強化計画（国債 1/4）（0.21） ・ ポリオ感染拡大防止・撲滅計画（UNICEF連携）（5.62） ・ カラチ港及びビンカシム港治安強化計画（18.77） ・ ラホール給水設備エネルギー効率化計画（詳細設計）（0.57） ・ 第二次洪水警報及び管理能力強化計画（UNESCO連携）（4.89） ・ ノン・プロジェクト無償（1 件）（5.00） ・ 日本NGO連携無償（1 件）（0.96） ・ 草の根・人間の安全保障無償（19 件）（1.64） ・ ジャパンプラットフォームを通じた人道支援（4 件）（1.44）	・ パロチスタン工科大学工学課程強化プロジェクト [14.04～17.03] ・ 国境地域農業普及員能力向上プロジェクト [14.10～17.09] ・ 定期予防接種強化プロジェクト [14.10～17.10] ・ 産業セクターにおけるエネルギー管理プロジェクト [15.01～16.12]

パキスタン

2014 年度 までの累計	9,809.93 億円	2,594.86 億円	532.94 億円(512.85 億円) 研修員受入 7,747 人 専門家派遣 2,030 人
------------------	-------------	-------------	--

注) 1. 表-1 注釈同様
2. 技術協力においては、2012 年度以降に開始され 2014 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の〔 〕内は、協力期間。

表-3 我が国の対パキスタン援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	有 償 資 金 協 力	無 償 資 金 協 力	技 術 協 力	合 計
2010 年	2.70	180.33 (98.58)	24.85	207.89
2011 年	169.26	336.85 (289.63)	24.05	530.16
2012 年	147.17	83.07 (25.17)	26.12	256.36
2013 年	117.81	35.80 (11.22)	19.36	172.97
2014 年	175.36	55.15 (16.97)	13.79	244.30
累 計	4,336.95	2,250.16 (521.41)	505.80	7,092.91

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、パキスタン側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表-4 主要ドナーの対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2009 年	米国 614.24	英国 218.03	日本 170.45	ドイツ 110.84	ノルウェー 46.57	170.45	1,375.95
2010 年	米国 1,197.95	英国 298.79	日本 247.08	ドイツ 156.68	オーストラリア 113.49	247.08	2,473.47
2011 年	米国 1,276.25	日本 575.01	英国 334.01	ドイツ 157.97	カナダ 87.49	575.01	2,719.71
2012 年	米国 625.91	日本 302.38	英国 301.22	ドイツ 163.45	オーストラリア 87.97	302.38	1,706.65
2013 年	米国 570.62	英国 529.77	日本 212.16	ドイツ 134.48	カナダ 67.09	212.16	1,777.24

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2009 年	IDA 1,176.63	ADB Sp. Fund 455.64	EU Institutions 97.63	GAVI 31.78	IFAD 19.84	85.99	1,867.51
2010 年	IDA 370.56	ADB Sp. Fund 350.69	EU Institutions 172.28	GAVI 95.37	GFATM 25.29	92.13	1,106.32
2011 年	IDA 879.75	EU Institutions 256.59	ADB Sp. Fund 94.44	WFP 30.29	UNICEF 22.43	84.49	1,367.99
2012 年	IDA 554.84	EU Institutions 190.12	GAVI 154.04	ADB Sp. Fund 47.63	GFATM 46.08	73.88	1,066.59
2013 年	IDA 444.31	GAVI 172.17	EU Institutions 141.91	ADB Sp. Fund 87.33	GFATM 77.13	68.29	991.14

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件 (開発調査案件を含む) (開始年度が 2010 年度以降のもの)

案 件 名	協 力 期 間
シンド州畜産 (肉・酪農) 開発マスタープラン策定プロジェクト	10. 7~13. 3
グジュランワラ市廃棄物管理マスタープラン策定プロジェクト	14. 2~16. 1

出典) JICA

表-7 2014 年度実施協力準備調査案件

案 件 名	協 力 期 間
ラホール給水設備エネルギー効率化計画	13. 6～14. 7
ファイサラバード市中継ポンプ場及び最終配水池ポンプ機材改善計画	13. 6～14. 8
カラチ港及びビン・カシム港治安強化計画準備調査	13. 7～14. 5
グジュランワラ下水・排水能力改善計画準備調査	13. 8～14. 6
カラチ気象レーダー整備計画準備調査	13.12～15. 3
送変電設備維持管理研修所強化計画準備調査	15. 1～15.10
カラチ市内国道 5 号線改善計画準備調査	15. 1～16. 6

出典) JICA

表-8 2014 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
イスラマバード市チャタ・バクタワール地区医療設備整備計画
連邦直轄部族地域 (FATA) ハイバル管区ラショーラ村小学校建設計画
シンド州カラチ市ファティミド財団血液疾病治療機材整備計画
ハイバル・パフトゥンハー州マンセラ県女子中等学校建設計画
パンジャブ州ジェラム県学校及び女性職業訓練センター建設計画
パンジャブ州デラ・ガズィ・ハーン県女子学校及び保健センター建設計画
パンジャブ州バックパタン県アリフワラ郡女子小中学校建設計画
カシミール地方ムザッファラバード市道路整備計画
パンジャブ州ラヒ・ミヤ・ハーン県リアカットプール郡医療設備整備計画
パロチスタン州クエッタ市ジャメ・シャファ協会救急車配備計画
シンド州カラチ市ハムダルド財団移動式診療車整備計画
シンド州ハイデラバード県 25 小学校水供給及び衛生施設設置計画
ハイバル・パフトゥンハー州スウィ県シェワ村女子小中学校建設計画
パンジャブ州ムザファルガー県女子小中学校建設計画
パンジャブ州ムルタン県小中学校建設計画
カシミール地方ムザッファラバード県パッティカ郡水・衛生設備整備計画
パンジャブ州オカラ県水ろ過設備設置計画
パンジャブ州ナロワル県シャカルガー郡道路整備計画
パンジャブ州ミヤンワリ県ミヤンワリ郡病院建設計画

主なプロジェクト所在図 (2012年度—2014年度)

パキスタン

